

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	6080	(H.26)No.	6080
-----------	------	-----------	------

事務事業名	農業振興一般経費		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	301501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	農林水産業費	農業振興対策費
項	農業費	(小事業名)
目	農業振興費	農業振興一般経費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	1	魅力ある農業づくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
多様な実践者が参画できる地域連携体制をつくる。 市民が健康で豊かに暮らせる農業を目指す。
事業内容
農業振興関係一般事務費 ・地域資源の発掘・再評価・活用 ・都市住民受け入れ態勢の整備 ・担い手育成推進 ・食と農のネットワークづくり ・住民が農へ参加できる仕組み作り

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の発掘・再評価・活用 都市住民受け入れ態勢の整備 担い手育成推進 食と農のネットワークづくり 住民が農へ参加できる仕組み作り 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の発掘・再評価・活用 都市住民受け入れ態勢の整備 担い手育成推進 食と農のネットワークづくり 住民が農へ参加できる仕組み作り 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の発掘・再評価・活用 都市住民受け入れ態勢の整備 担い手育成推進 食と農のネットワークづくり 住民が農へ参加できる仕組み作り 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の発掘・再評価・活用 都市住民受け入れ態勢の整備 担い手育成推進 食と農のネットワークづくり 住民が農へ参加できる仕組み作り 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の発掘・再評価・活用 都市住民受け入れ態勢の整備 担い手育成推進 食と農のネットワークづくり 住民が農へ参加できる仕組み作り

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	927千円	1,044千円	1,044千円	1,044千円	1,044千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 927	1,044	1,044	1,044	1,044
人工数					
職員	0.07人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	(0千円) 542千円	1,217千円	1,217千円	1,217千円	1,217千円
①+②総事業費	(0千円) 1,469千円	2,261千円	2,261千円	2,261千円	2,261千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
多様な関係者の参画により、農山村再生のための持続的な活動につながった。	引き続き、地域連携体制のもと取り組む。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか 一(施策指標の達成に分類できない)	
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 第2次名張市農業マスタープラン
経常的な経費であり、一定額の確保により事務が円滑に実施できる。	